

## 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

## 2012年度 クリスマス募金による活動報告書

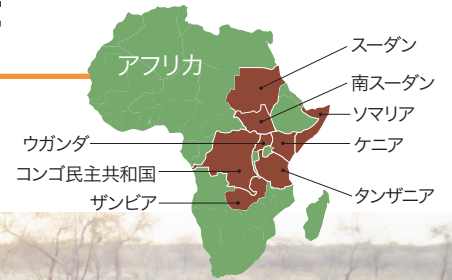
募金件数: 13,270件

募金金額: 100,582,202円

募金期間: 2012年10月1日～2013年4月4日現在

皆さまからいただきましたクリスマス募金(クリスマス食糧支援募金含む)により、アフリカやアジアで、食糧や水の不足により健やかな成長がはばまれている子どもたちや人々の支援を行うことができました。感謝とともに、報告させていただきます。

南スーダンの子どもたちとワールド・ビジョン・ジャパン国吉スタッフ



## 災害被害にある人々への食糧配布

## ウガンダ

## 支援地域の状況

カラモジャ地区は、国内でも特に貧しい地域で、全人口約100万人のうち80%が厳しい貧困にあり、子どもたちの34%が栄養不良に苦しんでいます。人々の多くは自給自足農業により暮らしていましたが、干ばつなど気候変動の影響により農作物の収穫が大きく落ち込みました。

## ワールド・ビジョン・ジャパンの活動

ワールド・ビジョン(以下、WV)はカラモジャ地区で、深刻な食糧不足で苦しむ人々や、障がい者、高齢者、子どもだけの世帯など弱い立場に置かれている人々約4万5千人を対象に食糧配布を行いました。栄養バランスの良い調理方法についても啓発を行い、人々の健康管理にも配慮しました。また、約2万3千人を対象に、「フード・フォー・ワーク」と呼ばれる支援を行いました。これは、農地の開墾や、苗木の植林、ダムや道路の建設など、地域のための労働の対価として食糧を手渡す支援の形をいいます。これらの活動を通して、地域が干ばつなど自然災害による食糧不足に中長期的に対抗できる力をつけることができました。



メイズ(トウモロコシの一種)などの食糧の配布を受け取る人々



「フード・フォー・ワーク」による支援の一環として、道路整備を行う人々。労働に加わった対価として食糧を受け取ります

## ソマリア

### 支援地域の状況

ソマリアでは、過去30年以上にわたる内戦と、少雨による農作物の不作のため、約234万人が食糧不足となりました。そのうち約23万6千人が急性栄養不良に陥りました。

また、母乳による育児が一般的ではないことも、乳幼児が栄養不良に陥りやすい原因となっています。さらに、人口の29%しか安全な水を利用できないため、特に5歳以下の子どもが、下痢やコレラ、細菌性赤痢などの病気にかかりやすくなっています。

### ワールド・ビジョン・ジャパンの活動

ソマリランド、プントランドにおいて、栄養不良の5歳以下の子どもや授乳中のお母さん、妊娠中の女性約4,400人を対象に栄養価の高い食糧を定期的に支援しました。WVスタッフや地方政府の保健職員、研修を受けた地域の人々は、乳幼児の健康状態を定期的にチェックし、栄養状態の改善に役立っています。また深刻な栄養不良に陥った乳幼児が治療を受けられる

ように、国とWVが運営する母子保健センターとの連携を確立しました。

また、子どもの保護者を対象に、子どもの栄養や健康、乳幼児に対して母乳を与えることや家庭における水の衛生的な利用の大切さについて、啓発活動を行いました。

干ばつと紛争の影響下にあるゴールドゴブで家族と暮らす、生後10カ月のサイタンちゃんは、重度の栄養不良となりましたが、支援により健康を取り戻しました。

サイタンちゃんが2012年11月にWVの運営する栄養改善センターに連れてこられたとき、体重は5キロしかなく、栄養失調と診断されました。すぐに治療が開始され、定期的な健康チェックを受けながら、栄養強化された食品が与えられました。

最初の3週間でサイタンちゃんの健康は好転し、3カ月後に治療を終えることができました。サイタンちゃんは、支援で回復した数十人の子どもの中の一人です。

お母さんのイクランさんは、サイタンちゃんの栄養不良の原因について「家族はとても貧しく、子どもたちを治療するお金もな

く、食べ物も不足する日々が続きました」と語っています。ゴールドゴブと北部ソマリアのほとんどの家族は、家畜を飼うことで生計

を立てていますが、干ばつで家畜を失くし、多くの家庭が最低限の必要さえ満たすことができなくなりました。

現在、WVはゴールドゴブで栄養改善支援を行う唯一の団体です。生後6カ月から5歳未満の深刻な栄養不良にある子どもたちを対象に、5人のスタッフが、栄養補助薬や虫下しの薬の配布などの活動を行っています。

ソマリアの最近の栄養に関する統計では、3人に1人の子どもたちが栄養不良に苦しんでいます。とくに5歳未満の21万5千人が栄養不良で、そのうち少なくとも4万5千人の子どもたちが深刻な状況です。

ゴールドゴブでのサイタンちゃんやほかの子どもたちへの支援は、子どもたちの栄養不良改善に大きく貢献しました。

### ワールド・ビジョンの 栄養改善プロジェクトにより回復した、 サイタンちゃんのお話



重度の栄養不良から回復したサイタンちゃん

## ケニア

リフトバレー州にある東ポコト県と西ポコト県は、長引く干ばつがもたらした水源の枯渇により、飲料水や生活水もこと欠くようになりました。主な生計手段である農業や家畜の飼育にも支障をきたし、人々は食糧不足に苦しんでいます。

WVは、世界食糧計画(WFP)と協力し、子どもたち、家畜を失った人、障がい者、闘病中の人、栄養不良児を抱える家庭など弱い立場におかれている人々に、優先的に食糧が届けられるような支援を実施しています。

そのほか、ジンバブエにおいても、干ばつの影響により食糧難にある人々への支援を行っています。

## 新しい国、南スーダンの人々への水・衛生支援

### 支援地域の状況

2011年7月に独立した南スーダンは、30万人を超える人々が帰還してきました。しかし、紛争がもたらした荒廃により470万人分の食糧が不足し、そのうち102万人以上が深刻な状況にあります。さらに、安全な水を利用できる人々は限られ、トイレの普及率も20%しかありません。子どもたちの教育環境の整備も緊急の課題です。校舎の多くが泥や藁で作られ、教室も机もなく床に座って学んでいます。特に北部では、ほとんどの先生が独立前にアラビア語で研修を受けているため、独立後の公用語である英語で授業を行うことができず、先生たちの英語や教育についての能力向上が求められています。



## ワールド・ビジョン・ジャパンの活動

北部のワラップ州など4州で、深刻な栄養不良にある子どもたちや授乳中のお母さんや妊娠中の女性などを中心に、帰還民へ食糧支援を行いました。また、子どもたちが継続して登校できるように学校給食を実施し、特に女子には、家族の分の食糧を持ち帰らせるなど、勉強を継続するような工夫をした支援を行いました。

また、北部のアッパーナイル州ファショダ郡で、皆さまの募金とジャパン・プラットフォーム<sup>\*</sup>の助成により、初等教育の質の向上、水・衛生環境の改善のための支援を行っています。

教育支援では、学校への机や椅子、棚など備品の支給、学校の管理・運営を担うPTAの研修、教員に対し英語や教授法の研修による基礎的な英語力と知識を身につけるための支援を行っています。また、女子の就学率が低く退学率が高いことから、全ての子どもへの教育が大切であることを伝える啓発を行いました。

また、水・衛生環境改善のために、小学校と帰還民の人々が多い地域にトイレを設置し、手を洗うこと、水は川の水を直接使わないこと、食べ物の安全な食べ方など、基本的な衛生

の知識のための啓発を行っています。また、川の水の浄水装置の適切な使用のために、水管理委員会への研修を行いました。

※ジャパン・プラットフォーム：日本の国際人道支援組織。日本のNGO、経済界、政府が対等なパートナーシップの下、それぞれの特性・資源を生かした協力・連携を行い、難民発生時・自然災害時の緊急援助をより効率的かつ迅速に行うための組織。

### 担当スタッフのコメント：國吉スタッフ

着の身着のまま「祖国」へ帰ってきた人々、地域在住の貧しい人々にとって、新しい国の現実はとても厳しいものです。しかし、実際に支援地域へ行くと、笑顔で迎え入れられ、日本の人々の温かい支援に感謝していると告げられます。これからも、WVは南スーダンの人々の生活の歩みを支えるために、活動を継続していきます。



子どもたちの未来、そして新しい国の未来のために子どもたちへの教育の重要性を伝える啓発イベントの様子

## 内戦影響下にある人々への食糧配布

### コンゴ民主共和国

#### 支援地域の状況

東部地域では、長年の民族対立、天然資源をめぐる争いなどから治安が不安定です。2012年10月には、反政府武装勢力が北キブ州の州都ゴマに侵攻し、約14万人の避難民が発生しました。避難民たちの食糧不足は深刻で、多くの子どもたちが栄養不良に陥りました。また、避難民の子どもたちは就学が困難で、国の教育予算の不足から親の経済的負担が大きく、小学校への就学率は50%ほどにすぎません。

#### ワールド・ビジョン・ジャパンの活動

南キブ州と北キブ州で、子どもたちの栄養状態の改善と就学率の向上を目的に、小学生約14万5千人、教師約3,200人、また調理人約1,500人を対象に、学校給食の支援を実施しました。食糧倉庫の管理や、調理用の燃料の調達などは、教員、保護者、そして生徒が主体的に行いました。

避難先から帰還した人々や国内避難民、またその受け入れる地域で暮らす住民などを対象に、食糧配布も行いました。

2012年10月以降の国内避難民の増加により、急ぎよ食糧配布の対象者を約4万人から12万人に増やし、支援を行っています。



支援により受け取った食糧を分け合う人々

### スーダン

#### 支援地域の状況

スーダンでは、近年の少雨のために、農作物の収穫量減少による食糧不足、輸出量減少による経済的な混乱が人々を苦しめています。特に紛争の続くダルフールでは、多くの人々が避難民となってキャンプでの生活を強いられています。

また、南ダルフールでは、衛生的な水の手に入る人々が非常に限られており、避難民だけではなく、キャンプの外で暮らす人々も水不足に苦しんでいます。水不足は農作物の収穫量減少をもたらし、現在南ダルフールの11%の人々が食糧不足に陥っています。

## ワールド・ビジョン・ジャパンの活動

南ダルフールにおいて、避難民キャンプで暮らす5歳未満の子どもたちや授乳中、妊娠中の女性など特に食糧不足の影響を受けやすい人々の栄養改善のために、2012年7月から12月までの間、約37万人に対して食糧を支援しました。計14カ所のキャンプで、継続的な食糧支援だけでなく、食糧不足が著しい耕作期に集中して食糧支援を行いました。

さらに、子どもたちの就学率が向上し、継続して登校できるように、小学校での学校給食を51校、約4万4千人の子どもたちへ支援しました。インタビューによると、90%以上の子どもたちが、学校で空腹を我慢する必要がなくなり授業に集中できるようになったと答えています。WVは、今後も継続してダルフールの避難民キャンプや周辺地域での食糧支援を行います。

## タンザニア

### 支援地域の状況

ムタビラ、ニャルグスの2地区にあるキゴマ難民キャンプでは、隣国から逃れてきた多くの難民が生活しています。1994年から1996年にかけてブルンジとコンゴ民主共和国から紛争や政情不安などを理由に逃れてきた人々に加え、その後のコンゴ民主共和国からの新たな難民の流入などで難民は増える一方です。難民キャンプの市場に食糧は並びますが、燃料価格の高騰などの理由で高値となり、人々は十分な食糧を得ることができません。

### ワールド・ビジョン・ジャパンの活動

WVは、WFPと協力して、ムタビラ地区の3万7千人、ニャルグス地区の6万2,500人の難民を対象に、定期的に食糧配布を行っています。支援は、地域の人々を小グループに分けることで、平等に配布されるように取り組んでいます。また、難民のリーダーからなる難民委員会を組織し、食糧倉庫の管理体制を整え、配布される食糧の安全面・衛生面の適切な管理にも配慮しました。委員会には、子どもたちの意見も反映されるような働きかけも行いました。

以前よりタンザニア政府はブルンジ難民の自国への帰還を促す強い動きがあり、2012年12月タンザニアとブルンジ両政府の合意により、ムタビラ地区にある難民キャンプは完全に閉鎖されました。多くはブルンジに帰還しましたが、約2千人はニャルグス地区に移住し、他国からの難民に加えこの地区の難民はさらに増加しました。WVは今後も引き続き、支援を継続していきます。

## バングラデシュでの母子栄養改善支援

かつて世界最貧国の一つといわれていたバングラデシュは、近年目覚ましい経済成長を遂げる一方、慢性的な食糧不足や幼い子どもたちの栄養不良が深刻です。男の子よりも女の子の方が発育障害や低体重が深刻で、これは思春期の女の子や妊娠中の女性の栄養不良、ひいては新生児や母親の健康をも脅かしています。

WVは地元政府や現地NGOと協力し、それらの食糧不足の影響を受けやすい人々とその家族を対象に、食糧支援、栄養改善指導や啓発活動、子どもの成長チェックの強化、生計向上などの支援を長期にわたり行っていきます。

子どもたち一人ひとりの成長記録を手にするボランティアスタッフ。毎日行われる健診の結果が記録されています

バングラデシュ



## ザンビアでの酪農を通じた栄養改善支援

近年の気候変動に伴う食糧不足への対策として、ザンビア南部マザブカ県で、小規模酪農の普及を通じた生乳生産により、収入向上や子どもたちへの栄養改善の支援を2009年から実施してきました。最終年の今年度は、貸与している牛の健康強化や生乳の出荷ルートの強化を計るために、酪農業が地域に根付く支援を実施しました。

※クリスマス募金(クリスマス食糧支援募金含む)は、一部を上記以外の活動にも活用させていただきました。

### ●募金についての 問い合わせ先

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー3F

TEL:03-5334-5351 FAX:03-5334-5359 Email:dservice@worldvision.or.jp

<http://www.worldvision.jp>

ワールド・ビジョンは、キリスト教精神に基づいて開発援助、緊急人道支援、アドボカシー(政府や市民への働きかけ)を行う国際NGOです